本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社Web(http://www.sanwa.co.jp/)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社

目　次

マウスの接続手順

詳細は各ページをご覧ください。

特　長

このたびはブルートゥースレーザーマウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品はBluetooth規格に対応し、Bluetooth内蔵のパソコンにレシーバーなしで接続ができます。2.4GHz RF対応なので電波障害を受けにくく、半径約10mの範囲で通信が可能です。

本製品は、高性能レーザーセンサーエンジンを搭載した次世代のマウスです。光学センサーでは識別しにくかった光沢感のある素材の表面を読みとることが可能で、様々なシーンで威力を発揮します。
本製品は、1600/800カウントの解像度切替えが簡単に行えますので、インターネットやドキュメント作業からグラフィックや写真画像の編集まで、幅広いナビゲーションに対応します。

※ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

安全にご使用していただくために

本製品は、JIS規格クラス1レーザープロダクトに準拠しています。本製品は通常の使用においては、きわめて安全ですが、使用上の注意を守って正しくお使いください。
●レーザーセンサー穴をずっと見たり、他人の目に向けないでください。
●製品を分解したり、改造したりしないでください。
●0℃～40℃の気温環境でお使いください。
●本製品に衝撃を加えないようにしてください。
●保証規定をよく読み正しくお使いください。

警　告

■テレビ/ラジオの受信障害について
本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。

●テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
●テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
●テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
●状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

注　意

●本製品およびソフトウェアを使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
●本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
●本製品は一般的な職場やご家庭での使用を目的としています。本書に記載されている以外でのご使用にて損害が発生した場合には、弊社は一切の責任を負いません。
●医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下で使用しないでください。
●高い安全性や信頼性が要求される機器や電算機システムなどと直接的または間接的に関わるシステムでは使用しないでください。
●飛行機の通信システムを妨害する恐れがありますので、飛行機で本製品を使用しないでください。
●ペースメーカーなどの医療機器を使用している方は、医師に相談の上で使用してください。

■ Bluetoothについて
●本製品の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器等のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
●本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されてないことを確認してください。
●万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変えるか、速やかに電波の発射を停止してください。

■ 良好な通信のために
●他の機器と見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと、通信不能な場合があります。
●Bluetooth接続においては、無線LANその他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生したりする可能性があります。
●IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに電波障害を発生し、通信速度が低下したり接続不能になったりする場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。
●無線機や放送局の近くで正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。

健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。

そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。

また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

対応機種・対応OS

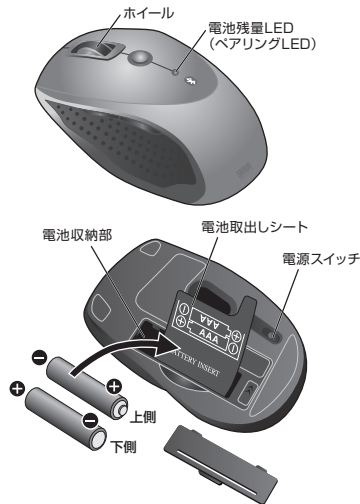
■対応機種

●Windows搭載パソコン　各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ
●Apple Mac シリーズ (Mac Pro、Mac mini、MacBook シリーズ、iMac、Power Mac シリーズ、PowerBook シリーズ、iBook シリーズ)
※Bluetoothモジュールを標準内蔵している機種
※Bluetoothモジュールを内蔵していないWindows搭載パソコンでご使用の際は、別途MM-BTUDシリーズ(Bluetooth USBアダプタ)をお求めください。

■対応OS

●Windows 7・Vista・XP(SP2)・2000
●Mac OS X(10.3以降)
※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、Text Edit及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。ホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。
※機種により対応できないものもあります。
※この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

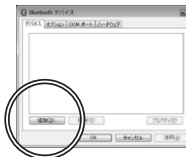
マウスの準備(電池の入れ方、電源のON・OFF)

1.電池収納部のふたを取り外します。
2.電池取出しシートの上に付属の単四乾電池を置き、マウスに入れます。
※正しい極性で入れてください。
3.電池収納部のふたを閉じます。
4.マウス裏面の電源スイッチをONにします。(しばらくの間、電池残量LEDが点灯します。)
5.ペアリング操作(マウスとパソコンを互いに認識させる作業)を行います。
※マウスを長時間使用しない場合や携帯する際にレーザーセンサーが駆動していると電池を消耗しますので、電源をOFFにすることをお勧めします。
※空になった電池をマウス本体内にそのまま置いておくと液漏れの原因になりますので、取り出しておいてください。

ペアリング操作の方法は、次のページから説明いたします。

ペアリング操作　Windows 7・Vista・XP(SP2)の場合

1.マウス裏面のペアリングボタンを3秒間押すと、表面のLEDが点滅します。

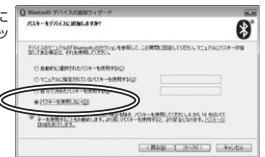
2. コントロールパネルを開き、Bluetoothデバイスをダブルクリックします。

3.「追加」をクリックしてください。

4.「セットアップを完了し、デバイスは発見可能になりました」を選択し、「次へ」をクリックします。

ペアリング操作　Windows 7・Vista・XP(SP2)の場合　(続き)

5. Bluetoothデバイスの追加ウィザード画面が表示されます。

6.「Bluetooth Mouse」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

7.「パスキーを使用しない」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

8. Windowsが「Bluetooth Mouse」との接続を自動的に開始します。

ペアリング操作　Windows 7・Vista・XP(SP2)の場合　（続き）

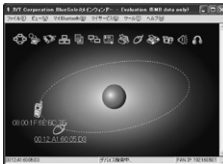
9. ドライバがインストールされ、通信できる状態になりました。

10. 一度接続が確立すると、リセット等を行わない限り、本製品とパソコンの接続は永続的に維持されます。

ペアリング操作　IVT BlueSoleilを使用する場合

1. マウス裏面のペアリングボタンを押し、LEDが点滅している状態で、デスクトップにある「BlueSoleil」アイコンをダブルクリックします。

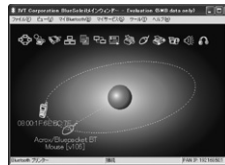
   メイン画面の「マイ デバイス」アイコンをダブルクリックしてください。

2. 新しいBluetooth機器を検索開始します。

ペアリング操作　IVT BlueSoleilを使用する場合　（続き）

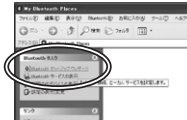
3. マウスが見つかったら、「Bluetooth mouse」を選択してください。
   HIDプロファイルのアイコンが黄色になります。
   このアイコンを右クリックして「接続」を選択すると、接続が開始されます。

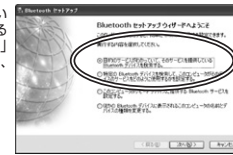
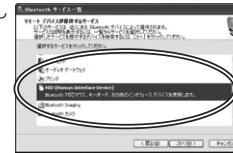
4. 接続が始まると、BlueSoleilが自動的にHIDドライバのインストールを開始します。

5. 接続が完了すると、BlueSoleilのメイン画面に接続状態が表示されます。

   一度接続が確立すると、リセット等を行わない限り、本製品とパソコンの接続は永続的に維持されます。

ペアリング操作　WIDCOMM BTWを使用する場合

1. マウス裏面のペアリングボタンを押し、LEDが点滅している状態で、デスクトップにある「My Bluetooth Places」アイコンをダブルクリックします。

2. 「My Bluetooth Places」ウィンドウの「Bluetoothセットアップウィザード」をクリックしてください。

ペアリング操作　WIDCOMM BTWを使用する場合　（続き）

3. 「目的のサービスがわかっていて、そのサービスを提供しているBluetoothデバイスを検索する」という選択肢にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

4. HIDを選択し、「次へ」をクリックします。

5. 近くにあるBluetooth HID機器の検索を開始します。

6. デバイスが見つかると、Bluetoothマウスのアイコンがウィンドウに表示されます。Bluetoothマウスのアイコンを選択し、「次へ」をクリックしてください。

ペアリング操作　WIDCOMM BTWを使用する場合　（続き）

7. Bluetoothセットアップウィザードがシステムに関するファイルを構成するまで数秒間お待ちください。接続が完了したら、接続の確認画面で「ここをクリック」を押し、操作を完了します。

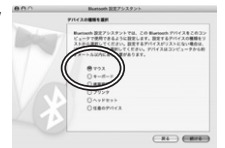
一度接続が確立すると、リセット等を行わない限り、本製品とパソコンの接続は永続的に維持されます。

ペアリング操作　Mac OS Xの場合

1. マウス裏面のペアリングボタンを押し、ホイールのLEDが点滅している状態にします。

2. メニューバーのBluetoothアイコンをクリックし、「Bluetoothデバイスを設定...」を選択します。

3. 「Bluetooth設定アシスタント」が表示されたら、「続ける」をクリックしてください。

4. 「マウス」を選択し、「続ける」をクリックします。

ペアリング操作 Mac OS Xの場合 （続き）

5. 「Bluetooth Mouse」が見つかったら、「続ける」をクリックして次のステップに進みます。

6. 「マウスを登録しています」というメッセージが表示されたら、「続ける」をクリックしてください。

7. 設定完了です。Bluetoothマウスが使用可能になりました。

   一度接続が確立すると、リセット等を行わない限り、本製品とパソコンの接続は永続的に維持されます。

ペアリング操作 TOSHIBA Softを使用する場合

以下の説明では、英語（中国語）版の画面写真を使用しています。
日本語版をお使いの場合は、日本語表示になります。

1. マウス裏面のペアリングボタンを押し、ホイールのLEDが点滅している状態にします。

2. タスクトレイの「Bluetooth」アイコンをダブルクリックしてください。

ペアリング操作 TOSHIBA Softを使用する場合 （続き）

3. 設定画面が表示されます。
   「New Connection」ボタンを押して、設定を開始してください。

   ※パソコンの機種によって表示が異なる場合があります。

4. 「Express Mode」をチェックして、次の画面に進みます。

5. デバイスが自動的に検知されます。

6. 「Bluetooth Mouse」を選択し、次のステップに進みます。

ペアリング操作 TOSHIBA Softを使用する場合 （続き）

7. 接続が開始されます。

8. 画面の指示にしたがい、次のステップに進んでください。

9. 接続が確立しました。接続名は任意で変更可能です。

ペアリング操作 TOSHIBA Softを使用する場合 （続き）

10. 設定完了です。

11. Bluetoothマウスとパソコンの接続が確立し、接続を示すアイコンが表示されます。

    一度接続が確立すると、リセット等を行わない限り、本製品とパソコンの接続は永続的に維持されます。

本製品の使用方法

本製品にはホイールコントロール(ホイールが回転し、スクロールなどの操作が行える)機能があり、簡単に画面をスクロールすることができますので、マウス操作がより楽に行えるようになります。

本製品にはMicrosoft IntelliMouse互換機能がありますので、MS Office 97のようにIntelliMouse機能に対応しているソフトウェアで、幅広いナビゲーション(スクロール・オートスクロール・ズームなど)が行えます。

■左ボタン・右ボタン
左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。右ボタンはアプリケーションごとに設定されているマウス動作を行ったり、コンテキストメニューを表示したりすることができます。左利きの方は、マウスのプロパティの「ボタンの選択」で、左右の機能を入れ替えることも可能です。

■サイドボタン(Windowsのみ)
インターネット操作で便利な「戻る」「進む」の操作がスピーディーに行えます。

■ホイール(スクロール)
WWWブラウザや各種ドキュメントの画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させます。

■ホイールボタン(スクロールボタン)
このボタンをクリックしたままマウスを前後左右に少し動かすと、自動的に画面がスクロールし始めます。自動スクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

本製品の使用方法 (続き)

■ズーム
「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、簡単にズーム(ウィンドウ内の表示倍率を変えること)できます。
　「Ctrl」キーを押しながら▼
　……ホイールをディスプレイ方向に回転させると、倍率が上がります。
　……ホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

■800/1600カウント(カーソルスピード切替え)
カウント切替えボタンを押すと、分解能を800→1600→800カウントに切替えることができます。

■電池残量LED
マウスを操作中にLEDが点滅を続けた際は電池が少なくなっていますので、すみやかに電池を交換してください。
※スリープモードから復帰する際、少しの間LEDは点滅しますが、電池残量とは関係ありません。

■スタンバイモード
マウスを操作中にマウスを動かさない状態がほんの少し続くと、スタンバイモードになります。マウスボタンを押すかマウスを動かすと、すぐに復帰します。

■スリープモード
マウスを動かさない状態が約30分続くと、スリープモードになります。マウスのボタンを押すと、マウスが復帰して動作可能になります。

**※注意：マウスがスリープモード状態になった際は、必ずマウスのボタンを押して復帰させる必要があります。
その際、復帰まで数秒間かかります。**

「故障かな……」と思ったら

Q.マウス(マウスカーソル)が動かない。

A. 1. ペアリングが切れていないか確認してください。(**6**ページ参照)
2. 電池が正しく挿入されているか確認してください。マウスの電源スイッチがOFFになっていないか確認してください。(**5**ページ参照)
3. 電池の残量が空になっているかもしれませんので、電池を交換してみてください。(**5**ページ参照)

**Q.マウスをしばらく操作しないと、動かし始めた際に少し時間がかかる。
マウス(マウスカーソル)が動かなくなる。**

A. 本製品は、電池の消耗を押さえるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスボタンを押すと復帰しますが、復帰まで数秒かかります。

Q.マウスカーソルの動きがスムーズでない。

A. 鏡などの光を反射する素材や、ガラスなど透明な素材の上でご使用になると、マウスカーソルがスムーズに動かない場合があります。また、規則正しいパターンの上ではトラッキング性能が低下する場合があります。

Q. Internet Explorerでスムーズにスクロールできない。

A. Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」→「詳細設定」で、「スムーズスクロールを使用する」のチェックを外してください。

Q. Windowsのディスプレイモードをトゥルーカラーにすると、スクロールの動きがおかしくなった。

A. ハイカラーモードを選択してください。トゥルーカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかるため、スピードコントロールの動きが遅くなります。

保証規定

1)保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
　①保証書をご提示いただけない場合。
　②所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
　③故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
　④故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
　⑤天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
5)本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
6)本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
7)修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
8)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
9)保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書ラベル貼付欄

※保証書ラベルを貼付し大切に保管してください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社Webサイト(http://www.sanwa.co.jp/)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社　2010.12現在

岡山サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1
TEL.086-223-3311　FAX.086-223-5123

東京サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8
TEL.03-5763-0011　FAX.03-5763-0033

札幌営業所/〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌
TEL.011-611-3450　FAX.011-716-8990

仙台営業所/〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37宝栄仙台ビル
TEL.022-257-4638　FAX.022-257-4633

名古屋営業所/〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7カジヤマビル
TEL.052-453-2031　FAX.052-453-2033

大阪営業所/〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45新大阪八千代ビル
TEL.06-6395-5310　FAX.06-6395-5315

福岡営業所/〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20第2博多相互ビル
TEL.092-471-6721　FAX.092-471-8078

10/12/THDaU